

# 豊丘村森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

令和8年1月

## 1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり ( 豊丘村森林経営管理制度実施方針 )

## 2 森林環境譲与税導入の効果

- ・森林所有者へ意向調査を行うことにより、個人の森林整備への関心が高まった。調査内容から、村や業者へ森林整備を任せたいという意見が多かったため、今後村としても、飯伊森林組合と連携して森林整備を進めていく必要が大いに有ることがわかった。
- ・村民の目につく里山整備を進めることにより、村民への安らぎの場所を提供することができた。また身近な森林整備を通して村民の森林整備への関心が高まった。
- ・道路等への危険木伐採を実施することにより、村民の通勤、通学の安心、安全が確保された。
- ・村有林内にある人工林の調査を行うことにより、今まで整備が進んでいなかった森林整備の計画を立てる準備ができた。

## 3 森林環境譲与税の活用状況 (全体像)

区分	令和元年度～令和[5]年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額 (円)	17,595,000	13,085,000	30,680,000	87%	人工林の間伐を、森林組合への施行地斡旋により進めると共に、村民が要望する、里山整備事業及び道路沿線の危険木伐採事業を進める。
譲与額 (円)	26,131,000	9,085,000	35,216,000		

## 4 令和6年度 森林環境譲与税を活用した事業一覧

### (1) 森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果	
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)				
② 森林所有者の意向調査	意向調査委託事業	781	781	0	0	森林の現況把握、森林経営管理法に基づく意向調査の実施等を民間事業者へ委託。	意向調査実施面積：103.48ha 人数：199名	森林所有者199名に対して意向調査を実施し、経営管理の希望を確認した。これにより令和7年度意向の集積計画及び業者への斡旋候補地の選定が可能となった。
小計		781	781	0	0			

### (2) その他事業

事業区分	事業名	事業総額 (千円)			事業内容	実績	事業効果	
		うち当該年度の森林環境譲与税 (千円)	うち基金取崩額 (千円)	うち他の財源 (千円)				
③ 私有林整備	豊丘中学校周辺里山整備事業	615	615	0	0	令和4.5年度に整備した中学校周辺の里山植林地の下刈りを行った。	中学校周辺の里山植林地1.32haの下刈り	中学校周辺の里山であるため、今後秋の紅葉の名所となるようにイロハモミジと、急傾斜地なので土砂崩落防止も兼ねてケヤキを植栽している。それぞれの用途が発揮できるように下刈りを行って生育を確保できた。
③ 私有林整備	市町村森林整備支援事業 ライフライン等の保全整備関連事業及び重要インフラ施設保全森林整備事業	9,482	7,689	1,019	774	村内の主要2路線の危険木114本の伐採、玉切を県の補助金(市町村森林整備支援事業)を活用し、搬出及び地拵え、修景林整備を一連の事業として実施した。また、村の事業である重要インフラ施設保全森林整備事業を活用して、区から要望のあった2路線の危険木伐採を行った。	村内主要2路線の危険木114本の除去及び区要望の2路線の危険木除去	村内の山間地を経由する主要バス路線沿いには、台風でも起きれば今にも道路に倒れて来そうな危険木が多数存在し、住民及び区からの強い伐採要望が村に寄せられていた。今回の危険木除去により、住民の不安が解消され、通勤、通学の安全が確保された。

# 豊丘村森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

令和8年1月

④ 公有林整備	村有林整備予備調査	2,981		2,981	0	村有林内にある人工林の整備を進めるための前段に森林の現況調査を行った。	村有林（ヒノキ・スギ・カラマツ）496箇所	近年、村有林の整備が進んでおらず、村の山林の大半を占めている村有林の公益的な機能が損なわれている状況でした。今回の調査で今後の森林経営計画の準備ができ、整備に繋げていく予定です。
小計		13,078	8,304	4,000	774			
合計		13,859	9,085	4,000	774			

## 5 今後の実施計画

1 森林所有者に調査した意向調査を基に、森林整備を進めていく。特に、人工林の間伐については、毎年3haを目標に経営管理集積計画や飯伊森林組合に斡旋し間伐を実施する。



2 村内の道路を始め多くの重要インフラ設備周辺には、施設に被害を及ぼす可能性のある危険木が多数存在する。そのような、危険木除去を積極的に行い住民の安心、安全を確保していく。



### 事業区分表

- |                                       |                            |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ① 森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等） | ⑪ 新たな組織の設立                 |
| ② 森林所有者の意向調査                          | ⑫ その他（人材育成・担い手の確保）         |
| ③ 私有林整備                               | ⑬ 木造公共建築物等の整備・内装木質化        |
| ④ 公有林整備（財産区有林含む）                      | ⑭ 地域における木質バイオマス利用推進        |
| ⑤ 森林保護対策                              | ⑮ 森林・林業の意義や木材利用促進に関する普及活動等 |
| ⑥ 林道・林業専用道の整備・維持修繕                    | ⑯ その他（木材利用・普及啓発関係）         |
| ⑦ その他（間伐等の森林整備）                       | ⑰ 基金積立（森林整備等）              |
| ⑧ 担い手の確保に向けた取り組み                      | ⑱ 基金積立（人材育成等）              |
| ⑨ 林業就業者の育成（労働安全対策や林業機械の導入含む）          | ⑲ 基金積立（木材利用等）              |
| ⑩ 専門員の雇用                              | ⑳ 基金積立（執行残額等）              |